

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援・放課後等デイサービス）

○事業所名	SEAワールドはこだて		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	利用児童13名（兄弟で利用3組のため保護者様9名）	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援室等のスペースの有効利用	日々の活動で使用している主たるスペースは、発達支援室1及び2の2室です。掲示物作成、体を動かすラジオ体操等の集団活動は発達支援室1で、宿題等の個別対応等は発達支援室2を使用しています。	椅子テーブルは容易に移動可能な物を使用し、発達支援室2室の有効活用が出来るよう工夫をしています。
2	支援内容への取り組み	皆んなで作る掲示物は、こども達に自由に色えんぴつ、サインペン、色紙をちぎったり等で楽しく取り組んでもらい、感覚で形の大きさや色の違い等を学んでもらっています。また、土曜日や長期休暇には、地域の公共施設を利用させてもらい地域資源を大いに活用しています。	季節感を感じられるよう、職員間でテーマ設定を検討しこども達に達成感も得られるよう準備しています。地域公共施設の利用の際には、その場を利用する他児や保護者様との交流がもっと広がるよう努めています。
3	職員のチーム連携	支援開始前の職員間の打ち合わせの中で、職員の困り事や悩み等もオープンにしてもらい、働きやすい職場環境の提供をするようにしています。	コミュニケーションを大切にしながら更に連携を図り、職員の今までの経験に伴う強みを引き出せるようにしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の関わり	保護者様同士が接する機会がやはり少ないと感じています。	それに向けた準備を丁寧に設定し、今後保護者会の開催へとつなげたいです。
2	お子様の日常生活の幅広さ	年中さんから中学2年生までの日常生活のスキルの幅広いお子様に対して、個々に見合った内容の活動を提供する難しさも一方ではあります。	同じ内容の活動への参加方法に対してなど、そのお子様に寄り添い職員全員で対応に当たるようにしています。
3	防犯マニュアルの整備及び他のマニュアルの保護者様への周知・説明	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル（衛生管理マニュアル）は策定されているが、防犯マニュアルに関しては切迫性が無く作成に至っていません。	防犯マニュアルについては、情報を集めて作成に努めたいです。他のマニュアルに関しての保護者様への周知、説明も対応を急ぎたいです。